

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

橋梁耐震対策事業／橋梁長寿命化修繕事業 (継続)

担当	建設部 道路課
----	------------

予算額		222,302				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	122,266	事業期間	平成7年度～平成42年度	全体事業費	1,813,178
		地方債	89,900	施策の大綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり		
		その他		施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり		
		一般財源	10,136	施策の内容	6 橋梁震災対策の推進		

事業の目的

橋梁の耐震性の向上及び長寿命化を図り、災害時における緊急輸送路等を確保するとともに、安全な道路交通を推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

耐震化予定の橋梁34橋のうち、17橋について落橋防止等を施工しました。また、平成23年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定した橋梁243橋のうち橋長15m以上の79橋については、計画に基づき13橋の修繕工事を施工しました。

【今年度事業内容】

- ・東真鍋1号橋（木田余立体橋）耐震補強設計委託及び工事 72,000千円
- ・常磐線2号橋外3橋修繕工事，国道六号7号橋詳細設計委託 110,000千円
- ・歩道橋長寿命化修繕計画策定委託 3,150千円
- ・常磐線3号橋（二番橋）外1橋架替工事に伴う概略・詳細設計委託 37,152千円



常磐線3号橋（二番橋）現況

【今後の予定】

平成39年度までに、34橋について耐震化工事を実施し、平成42年度までに、修繕工事を完了させます。

期待される効果・成果目標等

計画的に橋梁の耐震補強及び予防的な修繕を実施することにより、橋梁の長寿命化が図られるとともに、予算の平準化と維持管理費用の削減が図られ、また、道路交通の安全性と信頼を、将来にわたり確保することができます。

※平成30年度末進捗率（予定）：橋梁耐震対策事業 50.0%（17/34橋），橋梁長寿命化修繕事業 20.2%（16/79橋）

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

道路新設改良事業

(継続)

担当 建設部
道路課

予算額		600,000		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	75,000	事業期間	平成30年度	全体事業費	600,000
		地方債	447,100	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備		
	一般財源		77,900	施策の内容	3 生活道路の整備及び管理		

事業の目的

幹線道路（Ⅰ級幹線，Ⅱ級幹線）の拡幅改良工事，歩道整備や生活道路・狹隘な市道の拡幅改良工事，舗装工事，交通安全施設工事等を計画的に進めることにより，道路機能の向上と市全体の道路網確立を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

道路延長（平成29年4月1日現在） L = 1,522,156m（6,938路線）
うち改良済延長 L = 724,804m（改良率47.62%）

【今年度事業内容】

(単位：千円)

区分	概要	事業費
道路改良工事費	37路線 L = 3,705m	447,120
測量設計委託料	17路線 L = 3,805m	76,140
公有財産購入費	29路線	26,640
物件移転補償費	21路線	41,866
役務費	鑑定料，登記料	6,524
事務費等		1,710
計		600,000

【今後の予定】

住みよいまちの実現の基礎となる生活道路の整備を計画的に進めていきます。



市道Ⅰ級38号線（荒川沖東三丁目）整備状況

期待される効果・成果目標等

日常生活の利便性向上及び地域環境の改善を図るとともに，歩行者と自転車の安全を確保し，交通事故防止に寄与します。また，緊急車両等の通行を可能にし，市民の安全を守ります。

款	土木費	項	河川費
---	-----	---	-----

都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業 (継続)

担当	建設部 下水道課
----	-------------

予算額		59,000				(単位：千円)		
財源内訳	特定財源	国県支出金	36,822	事業期間	平成30年度		全体事業費	59,000
		地方債	17,200	施策の大綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり			
		その他		施策名	5 雨水等による浸水被害に強いまちづくり			
		一般財源	4,978	施策の内容	2 都市下水路の整備			

事業の目的

都市下水路や小規模排水路を計画的に整備することにより、雨水を速やかに排除し、豪雨による道路冠水等を解消するとともに、生活環境の改善を図ります。

事業の概要

- ◎都市下水路整備事業
 - 【これまでの経緯】 平成22年度から、西根竹の入都市下水路整備工事を実施しています。
 - 【今年度事業内容】
 - ・西根竹の入都市下水路整備工事 L=50m
 - ※特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用します。
 - ・荒川沖都市下水路実施設計委託料 L=150m
 - 【今後の予定】 西根竹の入都市下水路については、引き続き、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、年次計画により整備します。
- ◎小規模排水路整備事業
 - 【これまでの経緯】 平成29年度から、田中三丁目地内小規模排水路整備工事を実施しています。
 - 【今年度事業内容】
 - ・田中三丁目地内小規模排水路整備工事 L=80m
 - ・小松一丁目地内小規模排水路測量及び実施設計 L=150m
 - 【今後の予定】 今後も引き続き、浸水対策の一環として整備を行っていきます。



西根竹の入都市下水路整備状況

期待される効果・成果目標等

大雨による浸水被害が減少し、市民の生活環境の向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

亀城モール整備事業

(継続)

担当	都市産業部 都市計画課
----	----------------

予算額		344,654				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成26年度～平成30年度	全体事業費	945,151
		地方債	307,200	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備		
		一般財源	37,454	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

川口一丁目交差点から中央一丁目交差点北側において、遊歩道の整備を行い、快適な歩行空間の確保と、潤いのある都市空間の形成を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

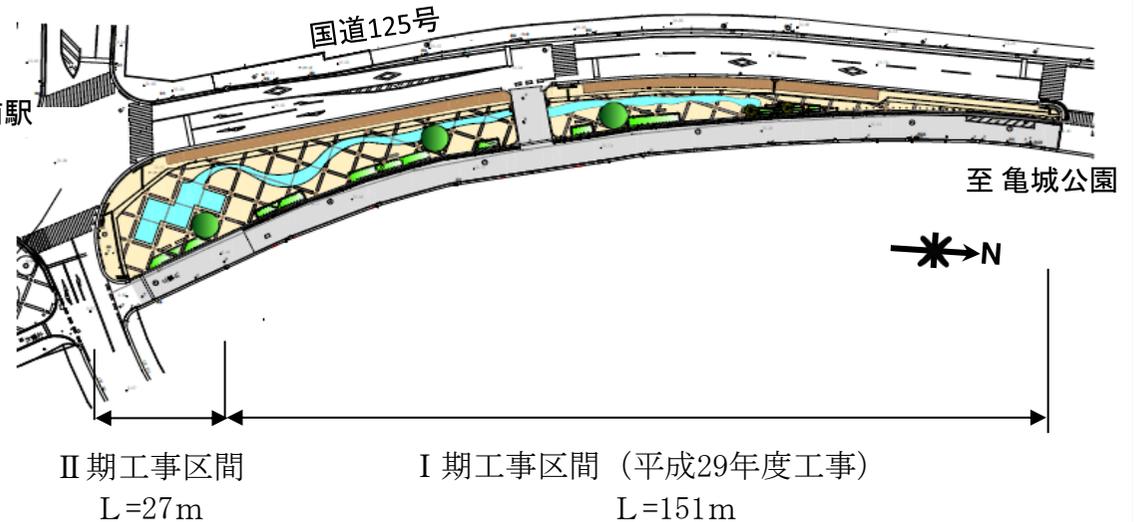
平成26年度 補償調査の実施，用地補償
平成27～29年度 用地補償，Ⅰ期整備工事

【今年度事業内容】

(単位：千円)

事業内容	事業費
用地補償	324,776
Ⅱ期整備工事	16,651
委託料等	3,227
計	344,654

至土浦駅



期待される効果・成果目標等

歩行者等の安全性を高めるとともに、市民や来訪者にとって潤いのある憩いの空間が形成されます。また、イベント等での活用を図ることにより、賑わいを創出するとともに、中心市街地の更なる魅力向上に寄与します。

神立駅西口地区土地区画整理事業

(継続)

担当	都市産業部 都市計画課
----	----------------

予算額		978,629		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	318,361	事業期間	平成24年度～平成33年度
		地方債	459,000	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり
		その他	118,233	施策名	5 生活拠点となるコンパクトな市街地の整備
	一般財源		83,035	施策の内容	1 神立駅周辺地区の整備
		全体事業費	8,721,255		

事業の目的

かすみがうら市と一部事務組合を設立し、神立駅周辺地区において、土地区画整理事業等により西口駅前広場及び都市計画道路神立停車場線等の都市基盤を一体的に整備し、質の高い市街地の形成を推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成28年度 仮設駅前広場・仮駅舎供用開始、新駅舎・自由通路工事着工
平成29年度 区画整理 第1工区着工

【今年度事業内容】

(単位：千円)

事業内容	事業費
土地区画整理事業負担金	229,200
駅舎橋上化・自由通路新設工事委託料，東口暫定広場実施設計委託料	717,471
事務費・派遣職員人件費負担金	31,958
計	978,629

【今後の予定】

平成31～32年 造成工事 平成34年3月 換地処分 事業完了



神立橋上駅舎イメージ図

期待される効果・成果目標等

駅前広場，都市計画道路，橋上駅舎や自由通路等の都市基盤を一体的に整備することにより，本市の北の拠点としてふさわしい市街地が形成されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

常名虫掛線街路事業 (継続)

担当	建設部 公園街路課
----	--------------

予算額		273,026				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	54,000	事業期間	平成22年度～平成30年度	全体事業費	3,392,839
		地方債	195,900	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備		
		一般財源	23,126	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的
市道Ⅰ級44号線（旧国道125号）と県道小野土浦線とを結ぶ内環状線として、整備を進めます。

事業の概要

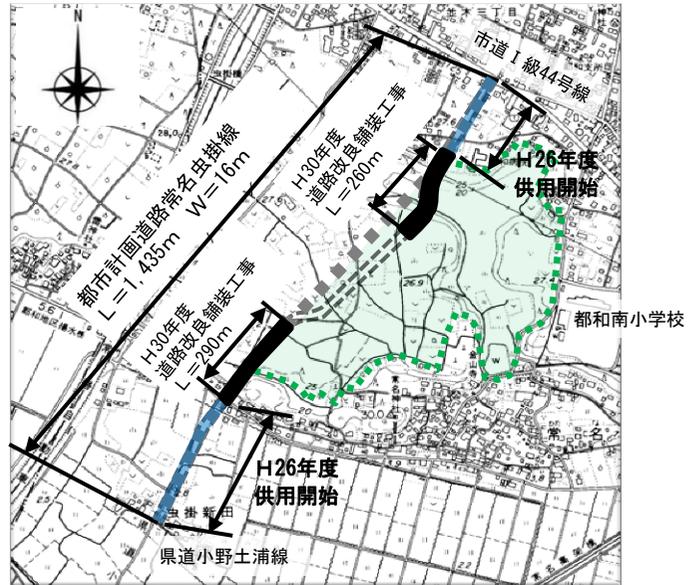
【これまでの経緯】
平成26年度末に、全延長1,435mのうち545mの供用を開始しました。
平成29年度は、道路改良工事、道路修正設計及び埋蔵文化財発掘調査を実施しました。

【今年度事業内容】
平成30年度は、道路改良舗装工事や流末排水路詳細設計を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	道路改良舗装工事等	218,160
補償補填及び賠償金	物件補償	28,000
委託料	排水路詳細設計等	25,866
公有財産購入費	用地買収	1,000
計		273,026

【今後の予定】
平成30年度末の供用開始（暫定整備）を目指します。



常名虫掛線街路事業箇所図

期待される効果・成果目標等
中心市街地と並木地区を結ぶ道路ネットワークの構築により、周辺地域の活性化や暮らしやすさの向上及び常名運動公園へのアクセスの向上につながります。また、周辺自治体との新たなネットワークが強化され、観光交流の促進及び地域の復興・再生につながります。

神立停車場線街路事業

(継続)

担当	建設部 公園街路課
----	--------------

予算額		146,627				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	62,955	事業期間	平成23年度～平成32年度	全体事業費	795,939
		地方債	74,000	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備		
	一般財源		9,672	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

神立駅西口地区土地区画整理事業に併せ、神立駅から国道6号までの区間を、本市とかすみがうら市が整備することにより、神立駅周辺地区の道路ネットワークを構築します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成29年度は、用地買収、物件補償及び道路修正設計を実施しました。

【今年度事業内容】

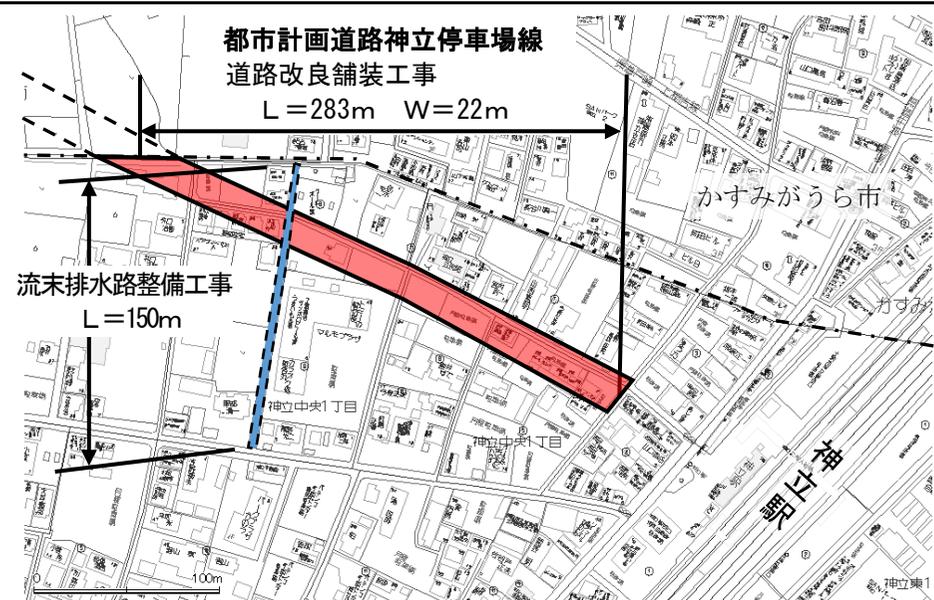
平成30年度は、流末排水路整備工事及び道路改良工事を行います。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	道路改良舗装工事等	132,300
補償補填及び賠償金	物件補償（電柱移設）	13,000
委託料	草刈清掃業務委託	1,080
需用費等	消耗品等	247
計		146,627

【今後の予定】

平成31年度末の供用開始を目指します。



神立停車場線街路事業箇所図

期待される効果・成果目標等

市北部地域の交通混雑が緩和するとともに、調和のとれた魅力的な都市環境を創出します。また、歩道整備による安全な歩行者空間を確保することで、円滑な交通動線の確保と快適な環境の形成が図られます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

田村沖宿線延伸道路整備事業 (継続)

担当	建設部 公園街路課
----	--------------

予算額		106, 151				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	53, 460	事業期間	平成24年度～平成30年度	全体事業費	1, 616, 537
		地方債	45, 100	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備		
	一般財源		7, 591	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

事業の目的

国道354号おおつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備することで、南北方向の道路網強化を図るとともに、近隣の学校へ通学する児童・生徒の通学路の安全を確保します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成27年度末に、全延長2,900mのうち480mの供用を開始しました。
平成29年度は、用地買収、物件補償及び道路改良工事を実施しました。

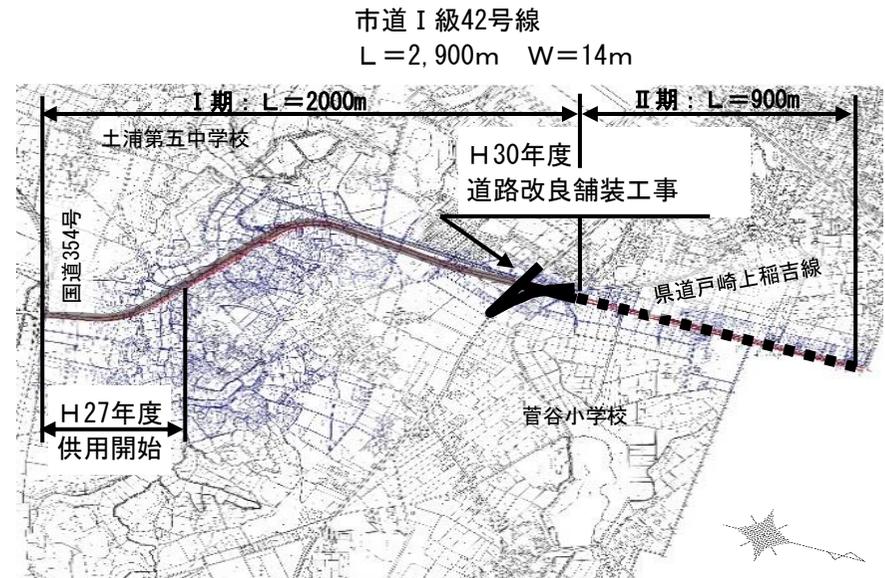
【今年度事業内容】

平成30年度は、交差点改良工事及び道路台帳修正委託等を実施します。
(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	道路改良工事等	103, 680
委託料	道路台帳修正等	2, 052
需用費	技術管理図書等	419
計		106, 151

【今後の予定】

平成30年度中に、I期事業区間(L=2,000m)の全線開通を目指します。



田村沖宿線延伸道路整備事業箇所図

期待される効果・成果目標等

神立駅東部地区、隣接するかすみがうら市及びおおつ野地内の円滑な交通体系が構築され、歩行者・自転車の安全な通行に寄与します。

荒川沖木田余線（I期）整備事業

（継続）

担当	建設部 公園街路課
----	--------------

予算額		361,756		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	190,300	事業期間	平成26年度～平成32年度
		地方債	164,600	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備
	一般財源		6,856	施策の内容	2 都市計画道路等の整備
		全体事業費	1,280,070		

事業の目的

都市計画道路真鍋神林線から国道354号までの3車線区間（I期：L=1,300m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞緩和を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成29年度は、不動産鑑定及び用地買収等を実施しました。

【今年度事業内容】

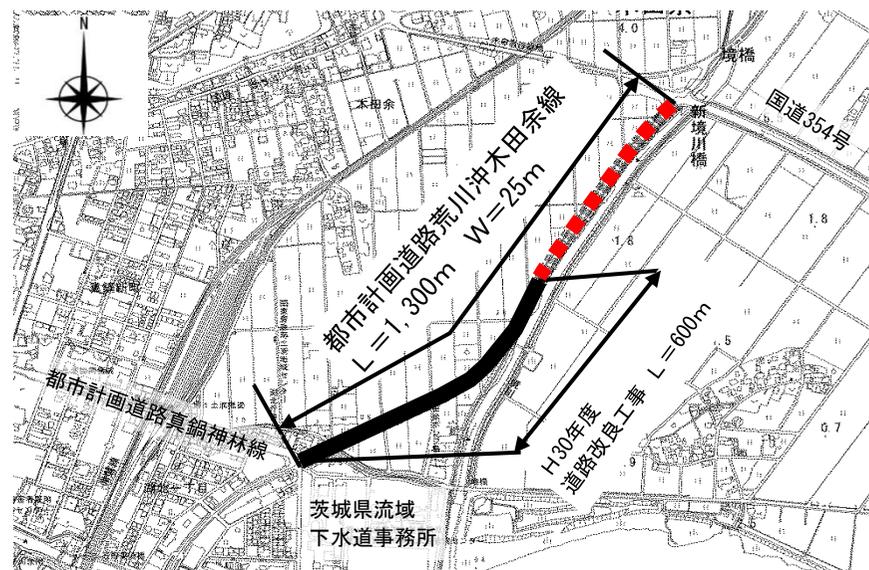
平成30年度は、用地買収、物件補償を進め、道路改良工事、交通安全施設工事を施工します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	道路改良工事等	307,260
公有財産購入費	用地買収	30,000
補償補填及び賠償金	物件補償	21,000
委託料	用地測量等	2,916
役務費	不動産鑑定料等	500
需用費	消耗品	80
計		361,756

【今後の予定】

平成32年度末までの事業完了を目指します。



荒川沖木田余線（I期）整備事業箇所図

期待される効果・成果目標等

交通渋滞の一因である3車線区間を4車線化することにより道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が図られるとともに、市街地の交通渋滞緩和及び安全性の向上が期待できます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

中心市街地活性化基本計画管理運営事業 (継続)

担当	都市産業部 都市計画課
----	----------------

予算額		8,103		(単位：千円)		
財源内訳	特定財源	事業期間	平成30年度		全体事業費	8,103
	国県支出金	施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり			
	地方債	施策名	1 広域的な拠点としての中心市街地の形成			
	その他	施策の内容	4 中心市街地活性化施策の推進			
	一般財源		8,103			

事業の目的

平成25年度に策定した「中心市街地活性化基本計画（計画期間：平成26～30年度）」に基づき、各種活性化施策を推進していく中で、事業効果を最大限発揮するため、計画の適正な運営管理を行うとともに、継続的な活性化への取組を進めるため、2期計画を策定することを目的とします。

事業の概要

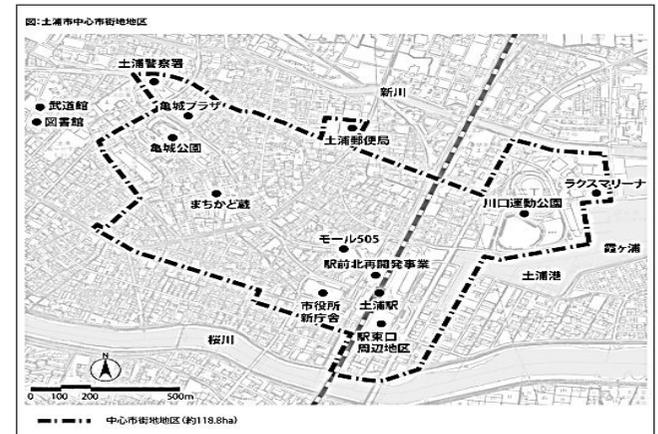
【これまでの経緯】

平成25年度 「土浦市中心市街地活性化基本計画」内閣府認定（平成26年3月認定）
平成26年度～ 計画実施

【今年度事業内容】

事業内容	事業費
中心市街地活性化基本計画策定（委託料）	7,200
計画策定委員会の運営（委員報酬等）	640
現計画の管理（旅費等）	263
計	8,103

(単位：千円)



中心市街地エリア図

平成30年度までの現計画の最終フォローアップを行うとともに、2期計画の策定を行います。

期待される効果・成果目標等

中心市街地活性化に対する市民の関心を高め、市民協働による更なる活性化の促進に寄与します。

まちなか定住促進支援事業

(継続)

担当	都市産業部 都市計画課
----	----------------

予算額		18,348	(単位：千円)				
財源内訳	特定財源	国県支出金	9,174	事業期間	平成26年度～平成30年度	全体事業費	87,605
		地方債		施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	1 広域的な拠点としての中心市街地の形成		
	一般財源		9,174	施策の内容	2 まちなか居住の促進		

事業の目的

中心市街地活性化基本計画に基づき、質の高いコンパクトなまちづくりを推進するため、定住促進を図る支援制度を実施し、居住人口増加による活力とにぎわいある中心市街地の再生を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

◎実績

年度	家賃補助	建替え・購入補助
平成26年度	2件	8件
平成27年度	20件	20件
平成28年度	35件	36件
平成29年度	37件	5件

※平成29年度実績は平成30年1月末現在

【今年度事業内容】

①まちなか住宅建替え・購入借入金補助 10,000千円□

中心市街地エリア内の住宅建替え、又は住宅を購入する者に対して、借入金の3%（上限50万円）を補助します。

②まちなか賃貸住宅家賃補助 8,348千円

土浦市外から中心市街地に住み替える世帯のうち、新婚世帯又は子育て世帯に対して、家賃の1/2（上限2万円）を補助□します。 □

【今後の予定】

計画期間の平成30年度まで実施し、中心市街地への定住促進を図ります。

期待される効果・成果目標等

居住人口の増加により、中心市街地での活力とにぎわいの創出に寄与します。
(中心市街地居住人口 目標値：8,443人(平成30年))

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

土浦港周辺広域交流拠点整備事業 (継続)

担当	都市産業部 都市計画課
----	----------------

予算額		208,346				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	104,112	事業期間	平成27年度～平成30年度	全体事業費	231,506
		地方債	93,700	施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり		
		その他		施策名	5 地域の魅力を生かした観光の振興		
	一般財源		10,534	施策の内容	8 サイクリスト向けの拠点整備		

事業の目的

公共と民間の連携により、中心市街地における憩いの場として広く市民に開放するとともに、観光客の訪れる魅力ある空間を整備し、水辺の賑わいを創出します。

事業の概要

【これまでの経緯】

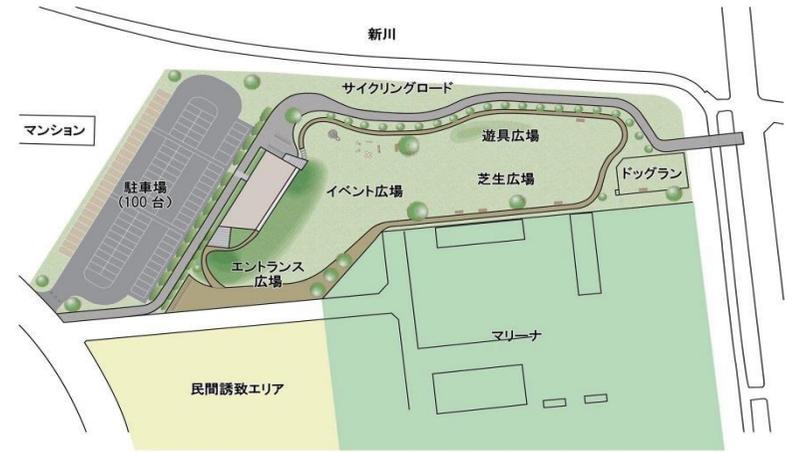
- 平成22年度 (株)プロパストより用地取得
- 平成23年度 暫定広場整備工事を開始
- 平成26年度 まちなかランドデザイン策定業務委託
- 平成27年度 川口二丁目地区官民連携導入条件調査業務委託
- 平成28～29年度 土浦港周辺広域交流拠点基本計画策定業務委託
- 平成29年度 土浦港周辺広域交流拠点設計業務委託

【今年度事業内容】

基本計画に基づき、市が先行整備する施設及び公園の工事を行います。
 ◎事業費 整備工事費：202,081千円 監理委託料：6,146千円
 事務費等：119千円

【今後の予定】

市が整備する施設及び公園の工事を行うとともに、民間事業者の参入を促します。



市先行整備ゾーン配置図

期待される効果・成果目標等

本市の貴重な自然資源である霞ヶ浦や隣接するつくば霞ヶ浦りんりんロードを活かして、にぎわいと交流を創出し、中心市街地の活性化に寄与します。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

常備消防車両更新事業

(新規)

担当	消防本部 総務課
----	-------------

予算額		40,517		(単位：千円)			
財 源 内 訳	特定財源	国県支出金	14,807	事業期間	平成30年度	全体事業費	40,517
		地方債	21,600	施策の大綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり		
		その他		施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり		
	一般財源	4,110	施策の内容	2 救急・救助業務の充実			

事業の目的

永年の使用により性能が劣化している消防車両を更新整備し、消防力の基幹である消防車両の活動能力を維持します。

事業の概要

【今年度事業内容】

◎平成30年度購入車両

高規格救急車 土浦消防署南分署 40,517千円

※緊急消防援助隊設備整備費補助金を要望し更新整備予定です。

【今後の予定】

緊急消防援助隊として車両の登録を行い、他市町村で災害が起きた際は茨城県隊として派遣できる救急車とします。



高規格救急車

期待される効果・成果目標等

消防力の基幹である消防車両を更新整備することにより、消防体制の充実を図り、安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

「小中一貫教育」推進事業 (継続)

担当	教育委員会 指導課
----	--------------

予算額		5,712		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成30年度
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実
	一般財源	5,712	施策の内容	3 教育内容の充実	全体事業費

事業の目的

小学校と中学校を貫く学びの連続性の中で、学校が主体性を持って創意工夫に努め、心豊かに個性を發揮できるたくましい子どもの育成を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

本市各小中学校においては、小学校と中学校9年間の学びの連続性を創造する小中一貫教育の在り方について、それぞれの学区の特色を生かした取組を推進しています。本市ではこれまで、学力の向上及び学校間の連携強化をねらいとして、学習系統表を活用した授業、ICT機器の活用による効果的な学習指導、児童生徒の交流学習や小中教員の乗り入れ授業などを進めてきました。

【今年度事業内容】

- ・情報教育サポーターの配置 2,268千円
- ・デジタル教科書購入 1,665千円
- ・キャリアノート製本 871千円
- ・児童生徒交流促進のためのバス借り上げ 908千円

【今後の予定】

平成30年度からの小中一貫教育完全実施を受け、一人一人が心豊かに個性を發揮できるたくましい子どもの育成のために、事業の更なる充実に努めます。



小学校で中学校の吹奏楽部が演奏



中学校教員の乗り入れ授業

期待される効果・成果目標等

義務教育9年間を見通して、子どもたちの学力や心身の成長を意識した系統的な指導を行うことで、今まで以上に子どもたちの発達段階に応じた教育を行うことができます。また、児童生徒間の交流を図ることで、下級生への思いやりの心や上級生への尊敬の心を育み、豊かな心の育成が期待できます。

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

教育情報化計画策定事業 (継続)

担当	教育委員会 指導課
----	--------------

予算額		1,524				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成30年度	全体事業費	1,524
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実		
	一般財源	1,524	施策の内容	6 社会の変化に適切に対応できる教育の推進			

事業の目的

平成32年度から実施の新たな学習指導要領に基づき、プログラミング教育や情報モラル教育の推進など、児童生徒の主体的なICT活用を図るため、今後の情報教育の目標となる方向性を定めた第2期教育情報化計画を策定し、必要な施策や事業について体系的・計画的に実施します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成25年度に第1期教育情報化計画を策定し、学校におけるICT機器の積極的な活用に取り組んだ結果、ICTを活用して指導できる教員の割合が高まりました。

【今年度事業内容】

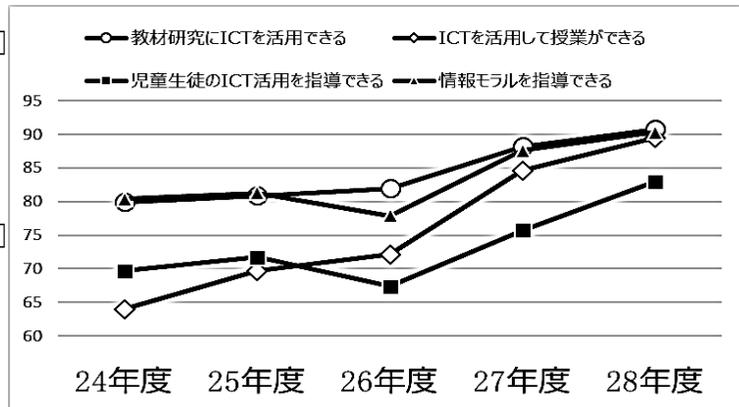
○第2期教育情報化計画の策定□

学校の職員を中心とする情報教育推進委員会において、5回の検討会を実施し、大学教授等の専門家のアドバイスを受けながら第2期計画を策定します。□

・計画対象期間 平成31年度～平成35年度

【今後の予定】

第2期計画で体系化・計画化された施策や事業に基づき、具体的かつ恒常的な取組を進めます。



期待される効果・成果目標等

ICTを活用した指導ができる教員の割合をさらに高めることにより、児童生徒がICTを活用して確かな学力を身に付け、情報を適切に取り扱うことができることを目指します。また、プログラミング教育の推進により、児童生徒の論理的思考力の向上が期待されます。

款	教育費	項	小学校費
---	-----	---	------

小学校適正配置推進事業 (新規)

担当	教育委員会 学務課
----	--------------

予算額		340				(単位：千円)		
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	平成29年度～平成31年度		全体事業費	741	
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり			
		その他			施策名			1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実
		一般財源	340	施策の内容		10 小学校の適正配置		

事業の目的

平成24年度に策定した「土浦市立小学校適正配置実施計画」に基づき、適正規模に満たない小学校が複数ある上大津地区について、子どもたちのより良い教育環境の整備を目指すため、土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会を設置し、具体的な検討を進めます。

事業の概要

【今年度事業内容】

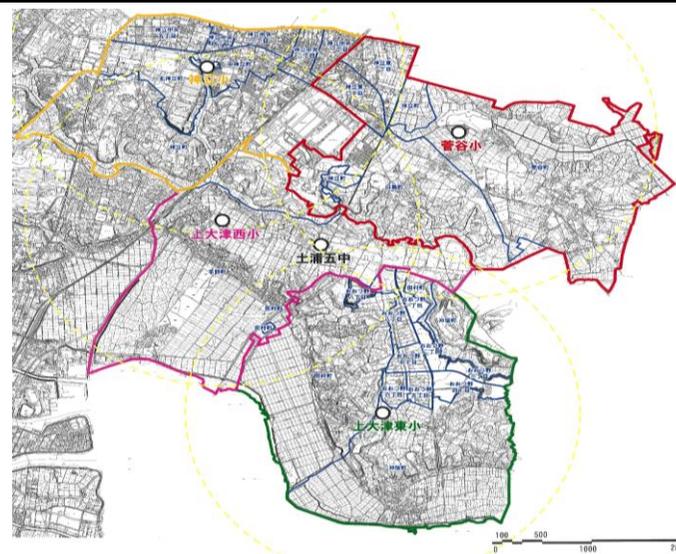
- 上大津地区小学校適正配置検討委員会の開催（7月，10月，1月）
- 上大津地区小学校の保護者及び地域住民説明会の開催

◎予算内容	・適正配置検討委員会報酬等	260千円
	・保護者及び地域住民説明会	80千円

【今後の予定】

平成31年度

- 上大津地区小学校適正配置検討委員会の開催
- 上大津地区小学校の保護者及び地域住民説明会の開催
- 「土浦市上大津地区小学校適正配置実施計画」の策定



上大津地区における通学区域の状況

期待される効果・成果目標等

集団の中での社会性の育成など、子どもたちにとってより良い教育環境の充実が図られます。

款	教育費	項	小学校費
---	-----	---	------

小学校／中学校施設非構造部材耐震化事業

(継続)

担当	教育委員会 教育総務課
----	----------------

予算額		7,107		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成26年度～平成36年度	全体事業費	1,260,222
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実		
	一般財源		7,107	施策の内容	9 学校施設やICT機器の整備・充実		

事業の目的

東日本大震災の被害状況を受けて平成23年度に改正された文部科学省の施設整備基本計画方針に基づき、校舎及び屋内運動場の耐震化を図っていますが、構造体の耐震化が平成27年度に完了したことから、これに引き続き、校舎等のガラス飛散防止、設備類の固定化等、非構造部材の耐震化を推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

緊急時の避難場所となる屋内運動場及び柔剣道場の非構造部材の耐震化については、平成29年度をもって完了しました。

【今年度事業内容】

校舎の非構造部材の耐震化工事（ガラス飛散防止、設備類の固定化）のための実施設計を行います。

[対象校]2校 下高津小，荒川沖小

【今後の予定】

小中学校校舎について、年次計画で非構造部材の耐震化工事を実施します。



普通教室写真



廊下写真

期待される効果・成果目標等

校舎の非構造部材の耐震化を推進することで、児童・生徒の安心・安全な学習環境の向上に寄与します。

款	教育費	項	幼稚園費
---	-----	---	------

市立幼稚園適正配置事業 (継続)

担当	教育委員会 学務課
----	--------------

予算額		6		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成27年度～平成33年度	全体事業費	31
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実		
	一般財源	6	施策の内容	1 幼児期の教育の推進			

事業の目的
平成28年度に策定した市立幼稚園の再編計画に基づく適正配置を行うことで、より良い教育環境の充実を図ります。

事業の概要
市立幼稚園の園児数が年々減少し、定員を大きく下回っていることから、幼児の健やかな成長のための適当な環境を維持することが難しくなっています。そこで、近年の幼稚園需要の変化を考慮し、本市の幼稚園教育全体の充実を図るため、市立幼稚園の再編計画に基づき適正配置を実施します。

【これまでの経緯】
平成28年度 ○市立幼稚園の再編計画の策定（5月）

- ・平成30年3月末 土浦第二幼稚園，都和幼稚園及び大岩田幼稚園を廃止（条例可決）
- ・平成34年3月末 土浦幼稚園及び新治幼稚園を廃止（予定）

○土浦市幼稚園連絡協議会の設置
平成29年度 ○土浦市幼稚園連絡協議会の開催（7月：協議会，10月：市立幼稚園視察研修会，2月：私立幼稚園視察研修会）

【今年度事業内容】
平成30年度 市内幼稚園の課題の認識及び課題解決を図るため，土浦市幼稚園連絡協議会を開催（7月：協議会，10月：市立幼稚園視察研修会，2月：私立幼稚園視察研修会）
◎予算内容 幼稚園連絡協議会 6千円

【今後の事業内容】
市立幼稚園の再編計画に基づく円滑な適正配置に努めます。

期待される効果・成果目標等
就学前教育の重要性に鑑み，一定集団の確保や互いに切磋琢磨して成長する教育環境の充実が図られます。

武者塚古墳出土品保存台製作事業

(継続)

担当	上高津貝塚ふるさと歴史の広場
----	----------------

予算額		3,128		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	1,513	事業期間	平成28年度～平成30年度	全体事業費	7,584
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他	1,615	施策名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり		
		一般財源		施策の内容	4 埋蔵文化財の保護と活用		

事業の目的

平成26年度に国の重要文化財に指定された「茨城県武者塚古墳出土品」について、貴重な文化遺産として後世のために長く保存することで、本市の教育普及事業の更なる充実を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

さびなどが発生した出土品の保存処理と、玉類、銅製の杓(しゃく)、銀装の大刀、銀製の帯状金具等の保存台製作を行いました。また、古代人の髪型である「美豆良(みずら)」の保存について検討を行いました。



三累環頭大刀

【今年度事業内容】

鉄鏃(てつぞく)の保存処理と、三累環頭大刀(さんるいかんとうたち)、鉄鏃、大刀の鐔(つば)の保存台を製作します。美豆良については保存の検討結果を踏まえ、保存台の製作を行います。



鉄鏃(鉄製の矢じり)



美豆良の復元模型



頭髪(美豆良)と髭

【今後の予定】

展示による出土品の公開と、歴史の解明に向けた調査研究を進め、その成果についての公開に努めます。

期待される効果・成果目標等

武者塚古墳は、今から約1,400年前に造られた豪族の墓で、発掘された出土品は当時の社会を考える上で重要な資料です。末永く保存し、公開することによって教育普及事業に役立てます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

美術品公開推進事業

(継続)

担当	教育委員会 文化生涯学習課
----	------------------

予算額		2,261				(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成30年度		全体事業費	2,261	
		地方債			施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり			
		その他	40			施策名			4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり
	一般財源	2,221	施策の内容	1 文化芸術活動の推進					

事業の目的

土浦市民ギャラリーでの美術展覧会やイベントの開催、収蔵品の公開を推進し、市民にとって身近な芸術鑑賞の場を提供します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成29年11月27日にオープンした土浦市民ギャラリーにおいて、オープニング展第1弾として「茨城県近代美術館 移動美術館－茨城ゆかりの洋画家たち－」及び「土浦市収蔵美術品展」を、第2弾として「第70回土浦市美術展覧会」を開催しました。

【今年度事業内容】

- ・「市民協働企画展」 平成31年2月～3月上旬
平成28・29年度のワークショップの内容に基づき市民公募による写真展を開催します。
- ・「図書館・市民ギャラリー連携企画」 平成31年3月下旬～5月上旬（平成30年度・31年度事業）
絵本作家たちによる原画の展示や講演会などを図書館と連携して実施します。
- ・「土浦市収蔵美術品展」
本市に縁のある渡辺浩三や浦田正夫を中心に収蔵美術品の公開推進を図ります。



浦田正夫 「蓮」 (1949年)

【今後の予定】

- ・図書館との連携事業を展開するとともに、美術展覧会や若手作家の作品展等の開催、収蔵品の公開に努めます。

期待される効果・成果目標等

市民の芸術文化の発信拠点に相応しい活動を展開し、文化施設としての魅力を高めることで、中心市街地の活性化に寄与します。

市民会館耐震化及び大規模改造事業	(継続)
-------------------------	-------------

担当	教育委員会 文化生涯学習課
----	------------------

予算額		71,897				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	1,434	事業期間	平成29年度～平成31年度	全体事業費	2,295,478
		地方債	63,600	施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり		
		一般財源	6,863	施策の内容	2 文化施設等の整備と活用		

事業の目的

土浦市民会館は、昭和44年の竣工から長期間が経過し、老朽化が著しく、耐震補強も必要であると診断されていることから、施設の耐震化を図るとともに、老朽箇所等の大規模な改造を行い、施設を安心・安全で快適に利用できるように整備します。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成29年度に耐震補強及び大規模改造設計業務を実施しています。

【今年度事業内容】

平成30年度中に工事に着手します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	工事費	67,619
委託料	工事監理、備品等移動	4,188
旅費	製品検査旅費	90
計		71,897

【今後の予定】

平成31年度末までの事業完了を目指します。

[施設の概要]

- ・構造 鉄筋コンクリート造（地上3階）
- ・延床面積 5,657㎡（機械室棟を含む）
- ・竣工 昭和44年2月

[工事内容]

- ・耐震補強工事
- ・天井脱落防止対策
- ・舞台機構の改修
- ・トイレの改修
- ・客席の交換
- ・エレベーターの設置 等



土浦市民会館

期待される効果・成果目標等

文化・芸術活動の拠点施設として、市民等が安心して利用できるよう耐震補強工事を実施することで、施設の安全性が確保されます。また、老朽箇所等の改修を行うことで、施設の機能が高まるとともに延命化が図られます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

重要資料公開推進事業

(継続)

担当 教育委員会
博物館

予算額		8,922		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	422	事業期間	平成30年度
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり
		その他		施策名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり
	一般財源	8,500	施策の内容	6 博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場活動の充実	
				全体事業費	8,922

事業の目的

特別展やテーマ展などの展示を通して、本市の歴史や文化遺産の調査研究成果を広く公開・発信し、国宝や重要文化財など貴重な資料を身近に感じる機会をすることで、市民の生涯学習に対する要望に応えるとともに、地域の文化向上を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】 昭和63年の開館以降、毎年特別展やテーマ展などを開催しています。

【今年度事業内容】

- ・ 開館30周年記念特別展「花火と土浦Ⅱ一祈る心・競う技」：平成30年3月17日（土）～5月6日（日）
内 容：花火に込められた祈りと土浦の近代化を、国選択無形民俗文化財である「からかさ万灯」と土浦全国花火競技大会の両面から取り上げて紹介します。
- ・ 第40回特別展「土浦100年—大正から昭和への軌跡（仮）」：平成31年3月16日（土）～5月6日（月）
内 容：近代土浦の分岐点である、およそ100年前の大正時代から昭和時代までの土浦の軌跡を、残された資料や記録、土浦ゆかりの人々の記憶などから紹介します。



土浦全国花火競技大会

このほか、テーマ展「井戸のある暮らし（仮）」、「土屋家の刀剣—国宝・重要文化財の公開—」、「むかしの暮らしの道具」展やはたおり作品展などを開催します。

【今後の予定】 特別展・テーマ展などの展示事業を継続し、調査研究成果を広く公開します。

期待される効果・成果目標等

本市の歴史や文化に関わる資料を調査研究し、その成果を公開することにより、市民の地域文化への理解が深まるとともに、更なる文化財保護の契機となることが期待されます。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

茨城国体準備事業 (継続)

担当	教育委員会 国体推進課
----	----------------

予算額		81,700				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	17,732	事業期間	平成27年度～平成31年度	全体事業費	334,779
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	5 全ての市民がスポーツ・レクリエーションに親しむまちづくり		
		一般財源	63,968	施策の内容	4 生涯スポーツの普及・振興の推進		

事業の目的

平成31年に開催する第74回国民体育大会(茨城国体)の円滑な運営に必要な準備を行います。「2019茨城国体土浦市実行委員会」では、市民意識の高揚を図り、おもてなしの心を持って大会の開催ができるよう準備に取り組んでいきます。

事業の概要

【今年度事業内容】

- ・「2019茨城国体土浦市実行委員会」の運営(実行委員会運営負担金：81,700千円)
- ・競技別リハーサル大会の開催(市民による運営ボランティアの参加)
- ・花いっぱい運動事業

(小中学校の協力による花の栽培及び各競技会場への飾花、歓迎装飾)

- ・各種イベントにおける茨城国体のPR活動など

【今後の予定】

- ・各競技会場の整備
- ・本大会の開催

[平成30年] 第74回国民体育大会 競技別リハーサル大会

競技	(種目)	大会名	日程	会場
水泳	(水球)	第73回国民体育大会関東ブロック大会	8.4(土)～5(日)	県立土浦第二高等学校プール
軟式野球		水戸市長旗第26回東日本軟式野球選手権大会	11.3(土)～4(日)	J:COMスタジアム土浦
相撲		第57回全国教職員相撲選手権大会	8.19(日)	霞ヶ浦文化体育会館
高校野球	(軟式)	第66回春季関東地区高等学校軟式野球大会	5.26(土)～28(月)(予定)	J:COMスタジアム土浦

[平成31年] 第74回国民体育大会 本市開催競技

競技	(種目)	種別	参加都道府県	日程	会場
水泳	(水球)	少年男子	16	9.13(金), 9.15(日)～16(月)	県立土浦第二高等学校プール
		女子	12(予定)	9.14(土)～16(月)	
軟式野球		成年男子	32	10.4(金)～5(土)	J:COMスタジアム土浦
相撲		成年男子	47	9.30(月)～10.1(火)	霞ヶ浦文化体育会館
		少年男子	47	9.29(日)～30(月)	
高校野球	(軟式)		10	9.29(日)～10.2(水)	J:COMスタジアム土浦



いきいき茨城ゆめ国体キャラクターいばラッキー



愛媛国体水球競技風景

期待される効果・成果目標等

市民スポーツへの関心が高まり、更なるスポーツ活動の普及・発展に寄与するとともに、交流人口の増加が図られ、まちの活性化につながります。また、歴史と伝統、芸術・文化、豊かな自然など、本市ならではの個性と魅力を全国にアピールする絶好の機会となります。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

学校給食センター再整備事業

(継続)

担当 教育委員会
学務課

予算額		132,315		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	16,024	事業期間	平成24年度～平成32年度
		地方債	91,400	施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実
	一般財源	24,891	施策の内容	8 学校給食の充実	全体事業費

事業の目的

第一学校給食センター及び第二学校給食センターは、両施設ともに老朽化が著しく、また耐震基準を満たしていないことから、これらを統合して旧新治庁舎跡地に1センター方式として再整備します。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ・平成24～25年度にかけて再整備基本構想を策定し、平成25年度に事業手法検討調査を実施しました。
- ・平成28年度に旧新治庁舎跡地に建設することを決定し、平成28～29年度に基本・実施設計を実施しました。

【今年度事業内容】

(単位：千円)

区分	概要	事業費
旅費	製品工場検査旅費	80
役務費	建築確認申請等手数料	604
委託料	工事監理業務委託料	1,357
工事請負費	工事費(継続費)	130,274
備品購入費	厨房機器物品購入(債務負担行為)	0
計		132,315

【今後の予定】

- ・平成30年～平成32年5月 新学校給食センター建設工事
- ・平成32年9月 供用開始(予定)



土浦市立学校給食センターイメージ図

期待される効果・成果目標等

新しい学校給食センターを整備し、安心・安全でおいしい学校給食を継続して提供するとともに、食物アレルギーを持つ児童・生徒への対応が可能な施設とします。また、地元で生産された安全で新鮮な食材を積極的に取り入れ、地産地消や食育の推進にも寄与します。

